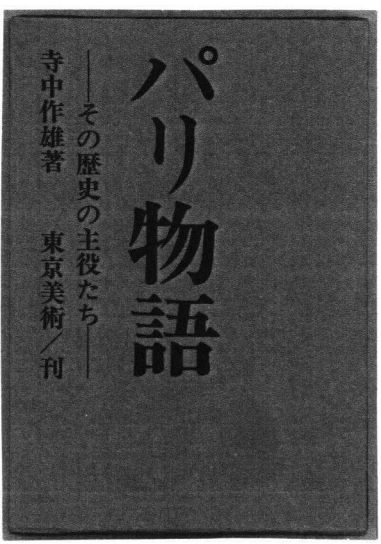


寺中作雄 てらなか てるお 隨筆家。明治四十二年十一月十六日兵庫縣生れ（一九〇九—）。昭和九年東京帝國大學法學部卒。文部省入省、大臣官房會計課長、社會教育局長兼國民體育館館長歴任。二十年日本大使館參事官としてパリ公使任、歸國後國立競技場・國立劇場各初代理専長就任。著書『政治思想の沿革』（昭和二十四年六月）、『大地書房』（昭和二十一年二月）、『日本教育新聞社』（昭和二十一年六月）、『毎日新聞社』（昭和二十五年六月）、『パリの街角』（昭和二十一年十一月）、『パリの物語—その歴史の主役たち』（昭和四十二年十一月）『東京美術』等。



パリ物語

—その歴史の主役たち—
寺中作雄著 東京美術/刊